

特別「現代社会理解特殊講義」 講義：社会への扉を開こう」



これから学ぶ三重大生へ
～半世紀前に三重大で学んだ卒

三重大では2025年度前期、伊藤正明学長が企画した特別講義「現代社会理解特殊講義1：社会への扉を開こう」を開講しました。本学役員に加え、政治・経済・環境・医療・食・スポーツなど、多彩な分野で活躍する学外の著名なゲスト講師をお迎えし、現代社会が抱えるさまざまな課題について学ぶ機会を学生に提供しました。

本講義は大学生だけでなく、市民の皆様にも開かれており、毎回多くの参加者で賑わいました。今回は、その中でも学外講師の回に焦点をあて、各回の講義内容や学生の学びを紹介します。講義を通して得られた知見や経験は、学生が社会で考え、行動する力の基盤になるとともに、大学と地域社会とのつながりをさらに深める機会となりました。

第2回：松浦 信男 氏(万協製薬株式会社 代表取締役社長)



心に鬼を飼え

阪神淡路大震災で全壊した工場を再建し、社員1200人規模・年商90億円
の企業に成長させた経験をご紹介いただきました。逆境の中での判断や
信念、偶然の出会いが人生に与える影響など、経営者としての実体験を交
えた講義でした。

第3回：久留宮 隆 氏(国境なき医師団 外科医)



現代社会における国際医療の役割

医療援助が届きにくい地域での活動や課題をご紹介いただきました。
現場での経験をもとに、医療格差や紛争などの現実を伝え、国際社会で
必要とされる医療の役割について考えさせられる内容でした。

第5回：平井 一正 氏(鈴鹿大学 教授／元五輪メダリスト)



自分自身の才能

モントリオールウェイトリフティング男子五輪フェザー級で銅メダルを
獲得されたご経験をもとに、練習や心構え、日々の努力の大切さについて
語っていただきました。学生は、自分の可能性を見つめ直す機会となりま
した。

第7回：林 佳世子 氏(東京外国語大学 前学長)



歴史から考える

中東地域の歴史研究を題材に、史料の読み取り方や情報の整理方法を
ご紹介いただきました。歴史を考える多様な視点や、自分で問いを立てる
ことの大切さを学ぶことができる講義でした。

第11回：田中 里沙 氏 三重大学理事・副学長 (学校法人先端教育機構事業構想大学院大学 学長)



セルフブランディングのすすめ ～自分の強みを知り、価値向上を目指そう～

広告・マーケティング業界および事業構想大学院大学での経験から、
自分自身の価値をどう見つけ、どう社会で活かすかについてご解説いた
だきました。G7サミットや万博、地方創生などのプロジェクト事例を通し
て、誰もが自分の強みを社会の中で活かせることへのヒントが示されました。

第6回：木村 旬 氏(毎日新聞社 論説委員)



社説から世界が見える

新聞社説の意義や役割をご解説いただきました。社会問題を読み解く
方法や、メディアが世論や社会に与える影響について理解が深まる講義で
した。

第10回：樋口 宏江 氏(株式会社近鉄・都ホテルズ 取締役／ 志摩観光ホテル 総料理長)



御食つ国みえの食材を新しい一皿に ～伊勢志摩ガストロノミー～

料理人としての志や、歴代総料理長から受け継いだ理念をご紹介いた
だきました。2016年G7伊勢志摩サミットで首脳に提供した料理のエピソード
や、地域の食材を活かしたメニューづくりの工夫なども伝えられ、地域資源
と文化の魅力を学ぶことができる内容でした。

第12回：西岡 慶子 氏 三重大学理事・副学長 (株式会社光機械製作所 代表取締役社長)



違いを価値に ～ダイバーシティの力が世界を拓く～

アメリカ企業での勤務経験、多様な人材が働ける職場づくりなどの体験
をもとに、現代に求められる考え方や姿勢について語っていただきました。
「Be Professional」など、仕事・学び・人生に共通するキーワードもあり、学
生にとっても日々の行動を見直すきっかけとなりました。